

V.G概輪だより

会報 第185号
発行日 令和2年2月1日
発行・編集 V・G概輪
代表者 大岡成一
http://web1.ibj.co.jp/~kirin

わがまち紹介

鴨神社の耕田(宮田)と
して開発されたまち

宮田町

大阪紙器工業の工場見学

令和2年1月23日、高槻市宮田町にある、大阪紙器工業(株)を訪問しました。

事務所の玄関を入るとウエルカムボードが迎えてくれました。



大阪紙器工業のウエルカムボード

鴨神社

鴨神社の南東に隣接するマンション建設に伴って平成12年に行われた発掘調査では、750年代の赤土の地層から柱か柵の跡が発掘されました。取手の付いた土器も出土しています。

本殿は昭和43年に現在の鉄筋に建て替えたの



鴨神社の拝殿、奥に赤い屋根の本殿が有ります

ですが、その時発掘調査されなかったのが残念です。しかし、少なくとも奈良時代・800年以前の神社ということが証明されたことになりました。

段ボールは、ライフサイクルで見た場合、地球温暖化の原因とされるCO₂の排出量が少ない、人にも環境にも優しいすぐれた包装資材です。天然の木材繊維に由来し、使用後もコンパクトに折りたため、簡単にリサイクルが可能です。そのためリサイクルの輪の中で、常に新しく衛生的な段ボール箱を使って梱包されています。万が一、リサイクルされなかった場合も最後は土に還ります。

宮田は鴨神社が支配する田で「宮」の「田」と云われていました。大阪紙器工業(株)高槻市宮田町にあるこの会社は、あらゆる包装のニーズに応える、段ボール製造メーカーです。昭和3年10月の創業以来、あらゆる包装のニーズに応え、高度化する物の流れに対応することで広く社会に貢献されています。



段ボール箱をイメージした事務所

段ボールは、軽量、安価などの優れた特性を持つことから、商品の物流過程における産業用包装資材として広く利用されている。段ボールの製造工程は、ロール状の原紙(ライナー、中芯)を原材料として、コルゲートマシン(貼合機)によって中芯原紙を波形に加工して段(フラット)と



工場見学前にビデオで会社全体の概要説明を受ける

段ボール製造業では原紙購入と輸送にかかるコストが大きい。原紙の仕入れに関しては、先の製造予定が把握できれば手配がしやすくなる。同様に、輸送についても先の出荷量が見えると輸送車両の手配がしやすい。そこで「先が見える」ということが非常に大事であり、コンピュータで一択管理できる「段ボール製造システム」を取り入れ管理されています。



全長70mの自動化段ボール製造ライン(工場内には粉塵もありません)

製造ラインを見せて頂くと、紙のロールがマジックボックスの機械の中へ流れ込むように入って行き、段ボールが製造されます。

また、地域への取り組みも重視され、高槻、大阪に関わり続け、地域とともに成長できる企業として、地域のNo.1企業を目指しております。



見学後本社事務所の前で記念撮影

その後印刷された箱になって出来上ってきます。そこで働いている社員の方々が、意欲を持って働けるところが素晴らしいです。社長の企業精神が行きわたっていると感じました。

2020年2月度行事予定

大阪を代表するオフィス街のまち：大阪市本町
大阪企業家ミュージアム見学

月 日：2020年2月20日(木)
集合：堺筋本町駅中北改札出口 集合
内容：大阪企業家ミュージアム見学・本町散策
その他：1) 雨天決行
2) 詳細は別途配布資料をご参照下さい。

2020年3月度行事予定

大きく変わりゆく大阪南大繁華街「ナンバ」：大阪市難波
大阪府立上方演芸資料館見学

月 日：2020年3月19日(木)
集合：大阪地下鉄難波駅南南改札出口 集合
内容：大阪府立上方演芸資料館見学・なんば散策
その他：1) 雨天決行
2) 詳細は別途配布資料をご参照下さい。